

まだまだ間に合う!! ● 6年生在学中に応募が可能な注目の文学賞はコレだ! ●



【文藝賞】締め切り/ 3/31 (消印有効)

近年、低年齢の受賞者が続き注目を集める!

○主催/河出書房新社 ○募集内容/未発表の小説 ○応募規定/400字詰め原稿用紙100~400枚 ○賞/記念品と50万円 ○過去の受賞者/山田詠美、白岩玄、綿谷りさなど



【すばる文学賞】締め切り/ 3/31 (消印有効)

受賞作はかならず単行本化される!

○主催/集英社 ○募集内容/既成の文学観にとらわれない意欲的な小説 ○応募規定/400字詰め原稿用紙50~300枚 ○賞/記念品と100万円 ○過去の受賞者/辻仁成、金原ひとみ、中島たい子など



【ダ・ヴィンチ文学賞】締め切り/ 1/10 (24時必着)

読者審査員による選考スタイルが斬新!

○主催/メディアファクトリー ダ・ヴィンチ編集部 ○募集内容/未発表のオリジナル作品。ジャンル不問 ○応募規定/400字詰め原稿用紙換算で100~200枚 ○賞/大賞1編:100万円



【ポプラ社小説大賞】締め切り/ 2/28 (消印有効)

大賞の賞金ナント2000万円!

○主催/ポプラ社 ○募集内容/10代も大人も夢中になれるエンターテインメント小説 ○応募規定/400字詰め原稿用紙200~800枚 ○賞/大賞1編:2000万円、優秀賞2編:各500万円

ハガキ文学大発表!

今月の
おささ賞 2本!!

大建千浩/北海道

「ハガキ文学」大発表の場。今回は「水色金魚」の作者、大建千浩さんによる作品が紹介された。大建さんは、北海道在住の12歳の中学生。今回の受賞作は、家族の絆をテーマにした小説。母が死んだ後、父と二人で暮らすことになる。父は、母の死を悲しんで、仕事を辞め、家に引きこもる。大建さんは、父の気持ちを理解し、父を元気づけるために、母の思い出を語り、父を笑顔にする。この作品は、読者の心を打動し、多くの賞賛を受けた。

水色金魚/高知県

「水色金魚」の作者、高知県の中学生。今回の受賞作は、家族の絆をテーマにした小説。母が死んだ後、父と二人で暮らすことになる。父は、母の死を悲しんで、仕事を辞め、家に引きこもる。高知さんは、父の気持ちを理解し、父を元気づけるために、母の思い出を語り、父を笑顔にする。この作品は、読者の心を打動し、多くの賞賛を受けた。

主人公の心のザワザワ感がうまく描かれている。短いなかにもちゃんとストーリーがあるので、読み手をひきつける。不思議な話だが、最後までオチがわからない書き方で大成功だ。

「ハガキ文学」大発表の場。今回は「水色金魚」の作者、大建千浩さんによる作品が紹介された。大建さんは、北海道在住の12歳の中学生。今回の受賞作は、家族の絆をテーマにした小説。母が死んだ後、父と二人で暮らすことになる。父は、母の死を悲しんで、仕事を辞め、家に引きこもる。大建さんは、父の気持ちを理解し、父を元気づけるために、母の思い出を語り、父を笑顔にする。この作品は、読者の心を打動し、多くの賞賛を受けた。

「12歳の文学賞」一次審査通過作品は42ページで発表!

文学賞ってのは、たくさんあるね。賞を定めて書いたり、作風に合う賞選びも大切なことなんだよ。わかったかな?

ハイ!
わかりました!!

次回のテーマは
結局、小説ってカンタンなの?
10回にわたって連載してきたこの企画をまとめて、グルッとおさらいするよ~!

